



# 救命処置の手順



## 倒れている人がいたら

### 1. 周囲の安全確認

傷病者が危険な場所にいる場合は、自分の安全を確保したうえで 安全な場所に移動させる。

### 2. 反応を確認する

傷病者の肩をやさしくたたきながら大声で呼びかける。



「わかりますか」「大丈夫ですか」「もしもし」等

### 3. 大声で助けを求め、

#### 119番通報とAEDの手配

反応が無い場合は「誰か来てください人が倒れています！」などと大声で人を呼び119番通報とAEDの手配を依頼する。



### 4. 気道の確保

片手で傷病者の額を押さえながら、もう一方の手の指先を傷病者のあごの先端にあてもちあげる。



### 5. 呼吸の確認

普段とおりの呼吸があるか10秒以内で確認、

普段とおりの呼吸がある場合は体を横に向け回復体位をとる



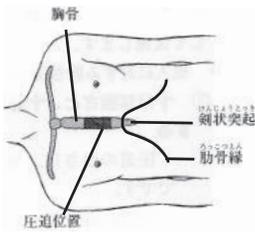
普段とおりの呼吸がない場合は次ページの心肺蘇生に入る

# 1. 心肺蘇生法（人工呼吸・胸骨圧迫）

## 6. 胸骨圧迫



（胸骨圧迫の位置）



普段どおりの呼吸がなければ、呼吸だけでなく脈拍も無いと判断し、直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を併用した心肺蘇生を行います。

胸骨圧迫の位置は胸骨の下半分の位置となります。

目安は、胸の真ん中（胸骨上）です。

一方の手の平の根元を胸骨に平行に当てもう一方の手を重ね胸骨以外の場所に手が当たらないよう両手先を反らせて圧迫します。

胸骨圧迫は十分な強さと、十分な速さで、絶え間なく圧迫することが最も大切です。

1分間に100回のテンポで30回圧迫します。

## 7. 人工呼吸



頭部後屈あご先挙上法

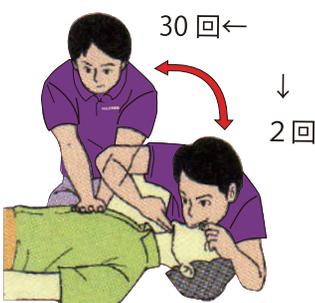
額に手を当てあごを引き上げ気道を確保し、額に当てた親指と人差指で鼻の孔をふさぎ、感染予防のためマウスピースを使用し人工呼吸を行うが無い場合はビニール袋・レジ袋等に穴を開け直接口に触れないようにして行う。

胸を見ながら、胸の上がりが見える程度の量を約1秒かけ静かに2回吹き込みます。

1回目の人工呼吸で胸の上がりが見えない場合は、再度気道確保し、2回目の人工呼吸を行います。

2回目で胸の上がり確認できてもできなくても、人工呼吸の試みは2回までとし、胸骨圧迫に進みます。

## 8. 胸骨圧迫30回と人工呼吸2回の組合せを続ける



胸骨圧迫30回と人工呼吸2回の組合せを絶え間なく続けてください。胸骨圧迫を絶え間なく行うため、胸骨圧迫と人工呼吸の切り替え時の移動や開始は、できるだけ速やかに行います。

胸骨圧迫は非常に体力を必要とします。時間が経過すると圧迫が弱くなったり遅くなりやすいので注意が必要です。

## ●AED(自動体外式除細動器)とは

AEDは、高性能の心電図自動解析装置を内蔵した医療機器で、心電図を解析し除細動(電気ショック)が必要な不整脈を判断します。操作は非常に簡単で、電源ボタンを押すかフタを開けると音声メッセージなどにより、使用方法を指示してくれます。

## ●除細動とは

突然の心停止の原因となる重症不整脈(心室細動)に対し、心臓に電気ショックを与え、本来の心臓のリズムに回復させるために行うものです。

(心室細動とは心臓の筋肉が無秩序に震えている状態です。)

## 2. AED到着後の手順

AEDによる除細動の対象者は呼び掛けに反応がなく、普段どおりの呼吸のない傷病者です。

### 1. AEDの到着



AEDを傷病者の頭の近くに置きケースを開けて、AED本体が使用できるようにします。

AEDのふたを開け、電源を入れます。(ふたを開けると自動的に電源が入る機種もあります。)

電源を入れた後は、機器の音声とディスプレイの指示に従って操作を進めていきます。

### 2. 電極パッドの装着



電極パッドが傷病者の肌に直接貼れるよう衣服を開きます。

電極パッドを貼る位置は電極パッドに書かれた絵のとおりです。

(一枚は右の鎖骨の下側、もう一枚は左の脇の下から5cm位下側)

小児(1歳以上8歳未満)には、小児用電極パッドを使用します。

小児用パッドがAEDの中に入っていない場合は、やむを得ず成人用パッドで代用します。

複数の救助者がいれば、電極パッドを貼る間もできるだけ心肺蘇生を継続します。

### 3. 心電図の解析と除細動



AEDは除細動が必要かどうかを自動的に判断してくれます。

また、音声メッセージにより、傷病者に触れないようメッセージが出るので、誰も触れていないか確認してください。

除細動(電気ショック)を実施した後、直ちに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開します。AEDの音声メッセージに従い、胸骨圧迫30回、人工呼吸2回の心肺蘇生を行ってください。AEDは2分経過するごとに、自動的に心電図の解析をしてくれます。

音声メッセージで「ショックが必要です」の指示が出たら、再度電気ショックを行います。